

## 2025 年度 自己評価結果

社会福祉法人聖隷福祉事業団

野上あゆみ保育園

あなた方も愛によってあゆみなさい (エフェソの信徒への手紙 5章1節～2節)  
私たちが神様に愛されていかされているように、子どもたちに愛をもって接し、愛をもって子どもたちの心と身体を守ります。

### <保育・教育理念>

保育の基礎をキリスト教におき、神の愛を伝えます。

- ① 愛されて愛する心を知り、ひとりひとりが大切な存在であることを知る。
- ② ひとりひとりの違いに気付き、お互いに認め合いながら共に過ごす。
- ③ 豊かな環境の中で自己発揮し、創造性を育てる。

保育所保育指針を軸に園内で作成した自己評価を使用し、職員各自で自己評価を行いました。その後、グループワークを行い自己評価の結果から見えてきた園の課題を抽出しました。見えてきた課題を次年度の取り組みにつなげていきたいと思えます。

内容	自己評価 課題
様々な緊急時の対応について	・理解しているつもりでも緊急時に冷静に対応できるか不安。 →マニュアルの定期的な再確認。(会議など) →ヒヤリハットについて、より丁寧に掘り下げ、安全策を施す。
気づき・振り返り (園の可視化)	・懇談会の時などに保護者から「もっと園のことを知りたい」というお声があった。園の様子や日頃のコミュニケーションだけでなく、保育の可視化について具体的な取り組みを検討していく。
気づき・振り返り (地域との交流)	・地域の親子や高齢者との交流機会が少ないと感じている職員が複数いる。子育て支援のプログラム内容の充実と高齢者との交流方法を模索していく。
全体を通して	・今年度も引き続き「子ども主体の保育」を意識して取り組んだ。職員間でも「主体性」重要性は浸透しつつあり、子どもの姿から保育を展開すべく、意識的に取り組んでいる。 ・緊急時の対応についてはマニュアルを確認しながら職員一人ひとりが自分事にできるよう進めていく。